平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会福祉援助技術演習Ⅱ(Skills Training for Social Work Practice Ⅱ)	授業コード	E021601
担当教員名	鍋田　耕作、河村　裕次、坂口　昌宏、栗延　孟	科目ナンバリングコード	E30927
配当学年	3	開講期	通年
必修・選択区分	選択	単位数	4
履修上の注意または履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」・「社会福祉援助技術現場実習指導」・「社会福祉援助技術現場実習」の3科目を必ず同時に履修することが条件となります。		
受講心得	聴くこと，見ること，調べること，そして、真剣に考え，積極的に取り組むことを心がけてください。 また，やむを得ない場合を除いて，欠席、遅刻は認められません。		
教科書			
参考文献及び指定図書			
関連科目	相談援助の基盤と専門職，相談援助の理論と方法，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，公的扶助論，社会福祉援助技術現場実習，社会福祉援助技術現場実習指導，社会福祉援助技術演習Ⅰ		

授業の目的	(社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ共通) 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ，社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について，実践的に習得するとともに，専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。
授業の概要	社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ(1～30回)は，社会福祉実習を行う前に必要な学習に位置づけ，社会福祉援助技術演習Ⅱでは，具体的な相談援助事例等を用い，総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。なお，講義については，個別指導並びに集団指導を通して，具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とする演習形式で行う。 また，社会福祉援助技術演習Ⅱ(31～60回)は，実習前に習得した相談援助に係る知識技術を踏まえ，事例検討として地域福祉の基盤と開発に係る事例を取り上げるとともに，社会福祉実習後の授業においては，実習における実習生の個別的な体験に基づく援助事例を活用することにより，個別的な体験を一般化し，実践的な知識と技術の習得を目指す。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 演習Ⅰの振り返り 社会福祉援助技術演習Ⅱの意義，目的の説明 社会福祉援助技術Ⅰの振り返り及び演習Ⅱとの関連について	配布資料
第 2 週 ： 事例研究(子ども家庭福祉①) 子ども家庭福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う	児童関連施設・専門職についての調べ学習
第 3 週 ： 事例研究(子ども家庭福祉②) 子ども家庭福祉に関連する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理(1h)
第 4 週 ： 事例研究(医療福祉①) 医療福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う	病院及びその関連施設・専門職についての調べ学習

第 5 週 ： 事例研究（医療福祉②） 医療福祉に関連する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第 6 週 ： 事例研究（高齢者福祉①） 高齢者福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う	高齢者関連施設・専門職についての調べ学習
第 7 週 ： 事例研究（高齢者福祉②） 高齢者福祉に関連する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第 8 週 ： 事例研究（高齢者福祉③） 高齢者福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第 9 週 ： 事例研究（高齢者福祉④） 高齢者福祉に関連する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第10週： 事例研究（障がい者福祉①） 障がい者福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う	障がい者関連施設・専門職についての調べ学習
第11週： 事例研究（障がい者福祉②） 障がい者福祉に関連する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第12週： 事例研究（社会福祉協議会①） 社会福祉協議会に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う	地域福祉関連施設・専門職についての調べ学習
第13週： 事例研究（社会福祉協議会②） 社会福祉協議会に関連する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第14週： ソーシャルワークにおけるアプローチとモデル 事例において取り扱わなかったその他のアプローチやモデルについて理解する。	自分の調べたアプローチ・モデルについてレポートとしてまとめる
第15週： 前期振り返り 前期の学習内容の振り返り	振り返りレポートの提出（1h）
第16週： オリエンテーション 後期演習Ⅱの意義，目的，内容についての説明	配布資料
第17週： 事例研究（地域福祉①） 地域福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第18週： 事例研究（地域福祉②） 地域福祉に関する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第19週： 事例研究（地域福祉③） 地域福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）

第20週：事例研究（地域福祉④） 地域福祉に関する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第21週：事例研究（地域福祉⑤） 地域福祉に関する事例をソーシャルワークのプロセスに沿って読み進め，プランニングを行う。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第22週：事例研究（地域福祉⑥） 地域福祉に関する事例において活用されているソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	ワークシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第23週：事例研究（事例の作成①） 実習での経験等をもとに，事例を作成する	事例シートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第24週：事例研究（事例の作成②） 実習での経験等をもとに，事例を作成する	事例シートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第25週：事例研究（学生が作成した事例①） 学生が自らの経験等をもとに作成した事例について，プランニング等を行うとともにソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第26週：事例研究（学生が作成した事例②） 学生が自らの経験等をもとに作成した事例について，プランニング等を行うとともにソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第27週：事例研究（学生が作成した事例③） 学生が自らの経験等をもとに作成した事例について，プランニング等を行うとともにソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第28週：事例研究（学生が作成した事例④） 学生が自らの経験等をもとに作成した事例について，プランニング等を行うとともにソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第29週：事例研究（学生が作成した事例⑤） 学生が自らの経験等をもとに作成した事例について，プランニング等を行うとともにソーシャルワークのアプローチ，モデルについて考える。	プランニングシートの提出 予習：次回事例内容の確認・整理（1h）
第30週：振り返り 演習Ⅰ，演習Ⅱの内容を振り返るとともに，専門職に求められる知識，技術について再考する	振り返りレポートの提出（1h）

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考	グループワークが中心とした講義となります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加することができる。
【知識・理解】	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	グループ活動や発表において，自分の考えを適切に伝えることができる。
【思考・判断・創造】	講義を通じて，学んだことを専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		15点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		15点	10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	プランニングシートやワークシート等の提出物をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。